

利尻礼文サロベツ国立公園に関する評価(アンケート調査)

利尻礼文サロベツ国立公園についてのアンケート回答集計結果(事務所HP)

居所 (住所)	回答者 来訪の有無			番号	Q1	Q2	Q3
	利尻 島	礼文 島	サロ ベツ 地域		利尻・礼文・サロベツの各地域の中で、国立公園であることを特徴づけているのは何だと思われますか。	前門1であげていただいたものについて、保護や活用をしていく上で何か問題や課題があると思われる場合は、その内容を記述して下さい。ご回答に当たっては前門1の右側にある番号を記入して下さい	前門2であげていただいた問題や課題については、どのような解決策が考えられるでしょうか。現実的でなくてもかまいませんので事由に記述して下さい。
札幌市	有	有	有	1	・ラムサール条約登録湿地であること。	・サロベツ湿原の海岸側の池沼の続く地帯は人間が行きづらいということもあり、あまり注目されることがない。	・ぜひ調査を行うなどして記録を残して欲しい。
				2	・サロベツ湿原の海岸から連なる潮沼群と高層湿原。	・高層湿原の乾燥化。	
				3	・利尻島の生態系～陸上、海中ともに。	・さまざまな分野の研究者がフィールド調査を行っているが、なかなかその成果を知る機会がない。	・地元のまちづくりの一環として自然環境を観光資源とするだけでなく、研究者が長期滞在できるサービスをしてはどうか。
				4	・礼文島固有の植物相。	・また、その成果を保護にどう生かしていくのか道筋をはっきりしているのか不明。	
札幌市	有	有	有	1	・その土地固有の生態系が保護対象として国立公園として指定されていること。	・固有動植物の減少。	・監視体制の強化、周辺環境の保護、固有種保護のための各機関の研究。
				2	・その土地でしか見ること・感じるができない景色風景気候風土。	・周辺環境の悪化。	・国？(環境省)による保護対策、国立公園周辺域を含む保全対策。
				3	・固有の動植物種の存在。	・地元住民の国立公園存在に対する意識の薄さ。	・監視体制の強化、周辺環境の保護、固有種保護のための各機関の研究。
				4	・動植物の種の多様性(個人的に利尻・サロベツの野鳥観察はとても楽しい。	・観光客の国立公園利用のマナーの悪さ。	・国？(環境省)による保護対策、国立公園周辺域を含む保全対策。
				5	・利尻富士が見える景色。		・啓蒙、教育活動を行う人員の増員、人への投資でしか啓蒙教育は行えないのでは？啓蒙教育する側の教えやさまざまな立場、各々の意識の高さが必要だと思う。
				6	・礼文のお花畑。	・啓蒙活動の希薄と認知の薄さ。	
				7	・サロベツのゼンティカ(エゾカンゾウ)。		
札幌市	無	無	有	1	・サロベツ湿原のミズゴケ。	・泥炭採掘跡地におけるミズゴケ食性の回復。 ・残存するミズゴケ湿原へのササの侵入。	・湿原内のミクロ・マクロスケールでの水動態を把握する。
				2	・サロベツから望む利尻。		
				3	・オジロワシ。	・人が近づくことによる巣離れ。	・営巣場所などの情報を公開しない。
				4	・モウセンゴケ。		
				5	・レブンアツモリソウ・ボタンキンバイなどの固有種。	・盗掘。	・常時パトロールを行う。
				6	・コモチカナヘビ。		
札幌市	無	無	有	1	・利尻山。	・アクセスが悪い (アンケート未記入のため加筆)	・アクセスがもっと良くなる(往復頻度や価格、発着点を増やすなど)と良いと思う。
				2	・他の地域ではあまり見られない高山植物が多く生育していること。	・近年乾燥化によるササの繁茂によって、湿原内の高山植物の生育が危ぶまれているように感じ、生態的にも景観的にも問題のある状況だと思う。	・地下水位を上げることが生態的に見て一番いい解決策だと思うが、広範囲にわたって処置するのは非常に難しいので、せめてビジターセンターの周辺だけでも、草刈りや野焼きなどで定期的にササの除去を行うようにする。
				3	・広大な面積の湿原。	・遊歩道が短い、もっと長く歩いて見たいと思うビジターも多いのではないかな。	・より長いコースを設置し、長く歩きたい人は長く歩けるようにする。また、短く切り上げたい人のために引き返すコースも設けると良いと思う。
				4	・日本最北端に位置していること。		
				5	・海、山といった自然要素を複合的に含んでいる。	・現在豊富町にあるビジターセンターに、サロベツの自然をもっと説明するような工夫が足りない。	・現在は、食事をする場所と植物の写真などが置いてある場所が一緒になっているが、それを別にして、自然を説明するための場所を新たに設ける。遊歩道の入り口にそれを設けると良いと思う。
札幌市	有	有	有	1	・利尻は海から突き上げている独立峰で(屋久島のような)ユニークな生態系がある。礼文においてもレブンアツモリソウに代表されるような固有の生態系がある。2つの島に関しては海域から山域まで楽しめる特徴がある。	・利用と保護のゾーニングをきっちり設定しないとユニークな自然環境が損なわれる危険性がある。特に登山道の浸食などは深刻である。	・大雪山国立公園で行ったような登山道管理水準のようなゾーニングを行うべきである。ただし、管理目標は現状に囚われず、目指すべき理想(目標)をしっかりと掲げるべきである。
				2	・利尻・礼文ではアクセスにおいて上限(フェリーや航空便の本数)があり、入込みはこれ以上増える可能性は現時点では少ないという特徴がある。マネージメントに際しての一定の有利な条件である。		
札幌市	無	無	有	1	・広大な湿原。	・乾燥化。 ・風車が景観を損ねている。	・湿原の保全 ・風車の撤去
				2	・海の中に利尻山が浮かんでいるように見えること。	・国道に駐車場所が少ない、若しくは、あっても偏在しているため、路駐の車がいて危なく感じる時がある。また、頻繁に停車している場所の近くにはゴミが多い気がする。	・山が見える駐車場所をパンフレットやHP、道路看板で紹介し、観光客に周知させる。既存の場所の良さをアピールし、観光客を偏在させれば、清掃等も楽になると思う。
大阪府枚方市	無	無	有	1	・島、湿原、山が一体となっている。		
				2	・湿原に咲く花が印象的。	・湿原の乾燥化が年々進んでいる。	・パトロールの強化。
				3	・固有の植物が多い。	・盗掘の問題。	・レンジャーの権限強化。
				4	・貴重な生態系をなしている。	・観光地化と自然保護の両立。	
				5	・湿原があり、島が見える特徴的な景観。		

※北海道地方環境事務所HPにて行ったアンケート結果(期間:平成18年4月27日～5月12日)

利尻礼文サロベツ国立公園についてのアンケート回答集計結果(観光者)

回答者の情報					No.	設問1	設問2	設問3
住所	来訪回数	サロベツ経験	利尻渡島経験	礼文渡島経験		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
北海道 上川市	2	○		○	1	日本最北の湿原地であること	【1・2関連】下サロベツ原野？幌延のビジターセンターはこぢんまりしていてよいが、もう少し最新自然情報、展示を充実させてもいい	
					2	湿原が広いこと		
					3	レブンアツモリソウなどの植物の固有種がいくつかあること		
					4	利尻山の形がきれいなこと	山頂付近が崩れかけている	入山規制、または10年くらい立ち入り禁止にする。その間に補修する
					5	島であること	【3～6関連】一定の時期に島に人がたくさんいる	【3～6関連】オーバーユースは自然にインパクトを与えるので、入島制限をする
					6	花の種類が豊富で、開花時期が重なるから		【3～6関連】島に入る前に自然レクチャーを全員にする(レクチャーを受けないと島に入れないようにする)
北海道 帯広市	3	○	○	○	7	利尻(急峻な山岳)と礼文(花の丘陵)の対照的な存在がおもしろい。利尻山頂から眺める礼文島、サハリンは格別		
					8	観光客、登山客が漁民の生活圏を出発して、散策路や山に向かうということ。離島独特の文化を感じつつ、本格的登山から気軽な散歩までできる公園	観光シーズン以外は商売っ気も無く、観光地としての作られた賑やかさがなくて、非常に良かった	今後、さりげない売り出し方、に注意して観光地にありがちな商売最優先的な町並みにしてしまわないこと。その土地の持つ「らしさ」をいつまでも残して欲しい
					9	礼文島の縦走路	ずいぶんと昔(10年以上)歩いたきりだが、特に柵やロープも無く、非常に気持ちよく歩いた印象がある	今後出来る限り、視界に入る人工物を作らない、または減らす(モラルを高めることが必要になってくるが)
					10	利尻山のバリエーション豊かな登山ルート(登山道のないルートも含め)	冬の登山時、スノーモビルで沢の奥まで詰めている人がいた。冬期間くらい便利さばかりの登山は止めて欲しい	スノーモビルは緊急時以外、全面禁止！としてみては？大胆だが、オフシーズンは入山者も限られているが、それだけに文明の利器が走り回っていると悪い印象が倍増
					11	定期航路のフェリーから見る利尻山	フェリーから島(山)の全体像をもっと見たいのだが、航路が決まっているためいつも同じ角度でしか見ることが出来ない	定期航路と観光フェリーを合体させて、島を半周くらいするような航路をとるようにする
北海道 札幌市		○	○	○	12	利尻山		
					13	道道106号線沿いの草花	個人でドライブしている場合等、草花の名前を知る術がない	景観や安全性の問題があるので、立て看板の設置は無理と思われるから、国道等における道路情報のように、FM等を使用して草花情報を流す
					14	エゾシカの群れ		
北海道 札幌市	1	○			15	鳥の鳴き声がたくさん聞こえる	どんな鳥がいるのか写真や動画を使った案内が欲しい。ガイドがいてくれると楽しめる	ガイドさんと双眼鏡などの機材を貸してくれるのがいつもあると良いですね
北海道 札幌市	1	○			16	木道があるので原野の奥まで入れる。一周歩くとけっこう運動になる	木道の途中で座ってくつろげる場所が欲しい	(木道の途中に休憩場所を)ぜひ作ってください
北海道 札幌市	1	○			17	原野がとてもいいので、砂丘林にも入ってみたい	砂丘林の散策路も歩けるようにして欲しい	(砂丘林内を)ガイドを伴って行くツアーがあれば参加したい
東京	1	○			18	海岸から見る日本海と利尻富士・礼文島	海岸の道路沿いのゴミが目につく	国や町で大規模な清掃活動を行って欲しい。市民にも参加を呼びかけて
					19	これだけの湿原は本州では見れない	生活排水など湿原の汚染が進んでいると聞いている	一人一人の意識を向上させると良い。この風景をもっと多くの人に見てもらいたい
東京	1	○			20	パンフレットにある花がたくさんある風景がとてもきれい	カラスが目立つ。せっかくの大自然なのに	カラスを寄りつかせなくする方法はないのでしょうか？環境省でそういう研究をして欲しい
					21	「でっかいどー」の一言(笑)	お土産がどこにでもあるようなものばかり	土地のものを使った土産・食事を作ってくると良い
東京	1	○			22	広い風景の中で吹く風が気持ちいい	ササが多い	ササ刈りががんばってください
東京	1	○	○	○	23	晴れている時だったので、礼文島で歩いた8時間コースはとても気持ちよかった	(今回のツアーでは)サロベツはすぐに立ち去ってしまうので残念	ツアーで色々選択肢があると良い。あらかじめ、こういう場所だと説明があれば、目的に応じて選べる
東京	1	○	○	○	24	利尻富士がとてもきれいで、日本人の心	海岸が汚い。ゴミが多い	海岸の清掃が必要
東京	1	○			25	とにかく広い	ホテルとかお店のサービスが不満	サービスについて、もう少し勉強する必要があるのでは？今、他の地方ではあまりこういうところはない
東京	1	○			26	利尻富士の白と黒のコントラストが美しい	名物がない。美味しいものがない	なにか特産品を開発すると良い
茨城県 水戸市	2	○	○	○	27	渡り鳥など野鳥の種類が豊富	野鳥を見ることが出来る場所や情報を教えて欲しい	VC内に公園外の野鳥の情報も掲示するようなものがあれば、地図付きで誰でも行けるようにしてもらとうとありがたい
埼玉県 さいたま市	1	○	○	○	28	よく見ると小さい花が咲いていて、可愛い	ガンコウランの花は教えてもらわなければ気づかなかった。ガイドがいて欲しい	いつもガイドさんがついてくれるようにして欲しい
神奈川県 横浜市	4	○	○	○	29	景色・鳥、利尻富士があればその写真が撮れる	風車が多いので絵作りに邪魔になることがある。ハクチョウと利尻富士で撮りたいのだが、できればタンチョウも	タンチョウの保護・増殖に向けた取り組みを今後も進めて欲しい。できれば自然形で、餌などのばらまきがない方が良い

回答者の情報					No.	設問1	設問2	設問3
住所	来訪回数	サロベツ経験	利尻渡島経験	礼文渡島経験		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
神奈川県横浜市	2	○	○	○	30	道路が広くて視界を邪魔するものがないので、バイク(自転車)で流していると、気持ちいい	(海岸沿いに)駐車スペースが少ない。ゴミが多い	駐車スペースを作る。ゴミを捨てないようにアピールする
京都府京都市	1	○			31	なにもない。それが良い	名産品が少ない。お土産に買うものがない	牛乳が余っていると聞いたので、牛乳を使ったデザートがあると良い。もちろん、ここ(サロベツ原野)で、晴れた日に風に吹かれながら食べられるようにして欲しい
京都府京都市	1	○			32	花が咲いている時期はとてもきれい	いまの時期(5月)はあまり花が咲いていない。湿原なのにミズバショウがない	建物があって、ミズバショウも見れる場所があると良い
大阪府大阪市	5	○	○	○	33	夕焼けに染まる湖(パンケ沼)にガンカモの群れと向こうに見える利尻富士	海岸線にゴミが多い	ゴミ拾いなどの活動がもっとあれば良いのでは？
兵庫県神戸市	1	○			34	見渡す限りの原野で視界を邪魔するものがない	屋外で休める場所がない	屋外にベンチやハンモックなどのゆっくり休めるものを設置して欲しい。食事でもできれば最高
奈良県奈良市	2	○			35	オオワシ・オジロワシなどの貴重な野鳥がいる	風車がたくさん立っているの、バードストライクがあるのではないかな	風車をこれ以上建てる必要がないのではないかな。なにかバードストライクが起こらないような取り組みが必要
福岡県北九州市	1	○			36	ゴマフアザラシが可愛い。地元では見ることができない	双眼鏡とか望遠鏡が備え付けであるといいですね	望遠鏡を置いて、誰でも見ることが出来るようにして欲しい
福岡県北九州市	1	○			37	最北だから。遠くへ来たんだなと実感できる	一望できる展望台が欲しい	利尻富士と原野と一望できる展望台を作る
					38	外国に来たような風景	木道が聞いていたよりも長い。20分では回れない	案内の人がいつもいて欲しい
不明※					番外	自然景観		観光グッズばかりでなく、もう少し資料的な価値のあるものをおいていただけたらいいと思います 利用者のニーズは様々あると思いますが、せっかく貴重な土地であるのでもう少し内容のある展示をされてもよいのではないかと思います クマザサの問題を取り上げたパンフとかを置いてほしい(どういう努力をしているか、とかも) ラムサール条約のことを説明したパネルが見たい

実施時期:平成18年4月27日～5月12日
 実施方法:VC来訪者に対しNPOサロベツエコネットワークがヒアリング

利尻礼文サロベツ国立公園についてのアンケート回答集計結果(関係者・地元)

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
稚内市	20	1	海に浮かぶ利尻山、一周すると形が変わる。最北の優美な富士	これから必要なものはなく、今あるものの保護・育成	町の財政で大変な部分は観光客より税金としてもらう
		2	宗谷丘陵	日本最大の風力発電の観光地化。宗谷岬のような整備をして、1年中行けるようにしてほしい。日本最北端宗谷岬～北海道遺産宗谷丘陵～日本最大風力発電	北海道、ひいては日本の財産なので(日本中からここへ訪れるので)、国・北海道・稚内がいっしょにアイデアを出し合う。いろいろな意見の最大公約数で決める
		3	礼文島 愛とロマンの8時間コース	西上泊～ウエンナイにーヶ所、ウエンナイ～礼文林道にーヶ所、パイオトイレの設置。2時間歩くごとにほしい。	旭川の正和電工等より寄付してもらう
		4	レプンアツモリソウ		
		5	地藏岩		
		6	自然の四季に生きずく動植物及び渡り鳥	「利尻・礼文・サロベツ国立公園いいとこどり 生きずく動植物と自然見たいガイド」の作成・販売。各分野の専門家が初心者を対象に日ごとのみどころを解説	この世の中、原油の上昇等、先が見づらい。利用する人が皆でまもらなければならない。喜んで購入したいものを作り、100円か105円で入山証として半税制
稚内市	2	7	礼文島の希少植物レプンアツモリソウ及び高山植物	レプンアツモリソウや高山植物の盗掘及び観光客による踏み荒らしがある	自然保護管理員やボランティアの増員を図り、盗掘防止や踏み荒らしのルールやマナーを普及宣伝する
		8	礼文島から望む利尻山	利尻山沓形側の崩壊が見える	崩壊を止める工事をする。
		9	利尻山山頂から望む360度の景色	登山道が荒廃しており、安全性にかける	登山道の整備をする。(ハード・ソフト両面で検討すること)
		10	沓形コースからの登山中に望む礼文島	登山道が荒廃しており、安全性にかける	鴛泊～沓形コースの縦断するため、親知らず子知らず近辺の登山道の整備検討
		11	利尻山の万年雪	万年雪が見える場所までは工用道路であり、車両の乗り入れが危険である。また、徒歩では時間がかかり観光には不向きである	観光バス等が乗り入れられるように道路の整備
		12	サロベツ原野の野草花	年々サロベツ原野の野草花が減少し、エゾカンゾウだけが目立っている	サロベツ原野の自然再生と野草花の保護と増殖の検討
		13	稚咲内砂丘林の湖沼群	現在の砂丘林内の歩道では、一般の人や観光客の探索に向いていない	稚咲内地区の駐車場の設置、砂丘林内の歩道の整備及び案内板設置など施設整備をすること
		14			国立公園内に不法投棄があり、その対策と処理をどうするか。
稚内市	2	15	礼文島の希少植物レプンアツモリソウ及び高山植物	レプンアツモリソウや高山植物の盗掘及び観光客による踏み荒らしがある	自然保護管理員やボランティアの増員を図り、盗掘防止や踏み荒らしのルールやマナーを普及宣伝する
		16	礼文島から望む利尻山	利尻山沓形側の崩壊が見える	崩壊を止める工事をする
		17	利尻山山頂から望む360度の景色	登山道が荒廃しており、安全性にかける	登山道の整備をする(ハード・ソフト両面で検討すること)
		18	沓形コースからの登山中に望む礼文島		鴛泊～沓形コースの縦断するため、親知らず子知らず近辺の登山道の整備検討
		19	利尻山の万年雪	万年雪が見える場所までは工用道路であり、車両の乗り入れが危険である。また、徒歩では時間がかかり観光には不向きである	観光バス等が乗り入れられるように道路の整備
		20	サロベツ原野の野草花	年々サロベツ原野の野草花が減少し、エゾカンゾウだけが目立っている	サロベツ原野の自然再生と野草花の保護と増殖の検討
		21	稚咲内砂丘林の湖沼群	現在の砂丘林内の歩道では、一般の人や観光客の探索に向いていない	稚咲内地区の駐車場の設置、砂丘林内の歩道の整備及び案内板設置など施設整備をすること
		22			国立公園内に不法投棄があり、その対策と処理をどうするか
稚内市	1	23	利尻富士のある風景	・車を止めて展望を楽しめる場所が少ない ・漂着物が多い海岸が多く、景観を台無しにしている ・海岸が浸食され、公園施設が失われたことがある	・車を止めて展望を楽しめる場所を増やす ・海岸漂着物を定期的に撤去する仕組みづくりをする ・海岸浸食のおそれがある公園施設については、防備策を高める
		24	広大な面積の湿原	・木道から足を踏み出して貴重な植物を踏みつける 観光客が後を絶たない ・主要道路から近い位置にあるため、ゴミ不法投棄をされる可能性がある	・木道から出ないよう、マナーを徹底させる ・不法投棄をさせない工夫と、された場合に撤去する仕組みづくりをする
		25	低地で楽しめる礼文の高山植物	・遊歩道等からはみ出る人が後を絶たない ・盗掘の危険にさらされている	・遊歩道から出ないよう、マナーを徹底させる ・マナーの徹底のみならず、確信犯に対する罰則を強化する
		26	種類や数の豊富な野生生物や離島の固有種	・過度な開発等により、常に人為的な影響による減少等の脅威にさらされており、渡り鳥等国外の事象による影響も受ける場合もある ・離島の固有種については、絶滅を危惧されているものもある	・国内はもとより、国外においても開発等が適正に行われるよう、環境問題における国際的発言力の強化に努める ・保護増殖事業の対象種を増やす
		27	登山口から山頂までの標高差の大きい利尻登山	・登山道からそれて植物を踏みつける登山者が後を絶たない ・危険な登山道がある	・登山道から出ないよう、マナーを徹底させる ・危険な登山道は安全に通行できるよう整備する、またはルートを変える、または廃道とするなど、人命を最優先に対策を講じる

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
稚内市	4	28	利尻山をサロベツ側から見ていると雰囲気ではミスマッチしたようにも見えるが、また逆に地域に染まったように見えること		
		29	海側から見て、はじめに利尻山は、島なんだなあと改めて感じたこと(車で走行中)		
		30	利尻、礼文に共通するが、普段見ることの少ない高山植物や独自種の花があること(リシリヒナゲシ、レブンアツモリソウ他)	珍しい高山植物や独自種の盗掘とかが見られる。自然というものを、みんなのものであるから、注意して、啓発すること。場所に訪れる方のマナーがない限り解決できないのではと感じる	これは採ってはいけないと注意・啓発をすること。そこにやってくる人が自然の大切さを自分自身が知ってもらうというマナーが必要である
		31	サロベツ原野の遊歩道を歩いていると、やはり広大なのかなと改めて感じる	遊歩道を歩いていて、外から、種で飛んできているような植物もいろいろあった。外来種によって、元々ある植物が駆逐されないか心配	弱い植物もあるが、外来種の生命力には歯が立たないと思うが、外来種の間引きをしたりする措置があれば少しは違うのと、訪れる人で、遊歩道以外の下から写真を撮ったりしていた人も見受けられたので、保護のためには、啓発は必要であると思います
稚内市	3	32	利尻富士	【94～96関連】保護するなら人が入らないようにするのが一番	【94～96関連】保護しつつ活用したいのなら金をかけて遊歩道を透明なチューブで覆うなど、人が限りなく近づけて楽しむことができて、かつ、自然に影響を与えないようにすること
		33	レブンアツモリソウ	【94～96関連】活用するなら駐車場、トイレ、遊歩道の整備が必要	
		34	湿原		
稚内市	7	35	キラめく海に浮かぶ利尻富士の眺め		
		36	広大な緑あふれる景色		
		37	夕日が海に沈む景色がすばらしい		
稚内市		38	海岸の散歩、緑地の散歩を楽しめる	海岸、緑地共にゴミにあふれていて、ドライブしても不愉快な気持ちになるし、とても散歩したいという気持ちになれない。せっかくの景色が台無しである。清掃し、景観を保護してほしい	市民に呼びかけ、年に数回清掃活動を行ってほしい
稚内市		39	西海岸の砂丘景観と海浜植物群	車両の乗り入れにより上部の植物が剥離し、剥き出しの砂が風の作用で浸食され、大規模な崩壊が進み飛砂によって砂丘間湿地が埋まっている。また、タイヤによる踏み付けで、指定植物を含む多数の植物が枯死している	車両乗り入れ規制の対象外だが、指定植物保護を名目にした規制はできるのでは。たとえば、指定植物の採取は規制されているはず
稚内市	一ヶ月	40	利尻山		
		41	サロベツ原野		
稚内市	3	42	雄大な自然が残っているところ	国立公園内に公共道路が存在していることが、すでに公園としての価値がなく、公園のエリアを見なおすべきと思う	道路が必要であるので安全対策を十分に行い、公園としての機能を有していない所は除くべきと思う
稚内市	一ヶ月	43	猛禽類が天空を舞っていること		
稚内市	1	44	人の手が入っていない景勝地を間近で見ることができること	景勝地を適切に保存していくためには、公共施設(道路、砂防ダム等)の維持・管理が不可欠である	各管理者との十分な意見・情報交換、定期的な打ち合わせ会議の開催により、情報共有や現地状況の把握に努める
稚内市	1	45	北の果ての自然・空・海が見えること		
		46	厳しい自然の中でも生を育む生物がいることが、人を勇気づけること		
稚内市	2	47	利尻島を望める雄大な景色	公園内の保護も大事であるが、公園内の道路の安全確保も重要である。また、自然環境と道路交通の安全を共存する方が必要と考える	防雪対策として防雪柵の工夫や地表面の改変を行わないトンネル方式など
		48	広大なサロベツ原野と咲き誇る花		
		49	稚内天塩線沿いの海岸線		
		50	礼文の奇岩や丘の風景		
稚内市	2	51		利尻の登山道が深い轍(溝)になっており歩きにくい。今後も降雨により進行すると思います。大雪山愛山溪で施行されている近自然型登山道の施行を切望します	夏場の登山者に1人1個の石を運んでもらい、それで近自然型登山道を作る。運んだ石には自分の名前を彫り、協賛金を募る(下川町の万里の長城風)
		52	オンドマリ沼から見る利尻山(逆さ富士)	あのすばらしい絶景をもっとPRする手法を考え、観光産業の更なる底上げを図るべき	官公庁職員の名刺の裏に絶景フォトを印刷し、PRしてはどうか
		53	利尻富士	自然景観を守るべきだ	登山道の整備は必要だが、新たな登山道の整備は不要。なお、災害対策等は景観に配慮し整備すべき
豊富町	58	54	海岸線から見る夕日の利尻	海岸沿いの道路から眺める景色が雪除けの施設で見えなくなる場所がある	道路交通安全性を保った上で景色も見えるようになる施設を開発する
		55	サロベツ原野のエゾカンゾウのすばらしさ	年々ササが増え始めているように感じる	ササを原野からなくする方法はないのでしょうか？
		56	牧場で草を食べる牛の群	近年かんぱつ気味で牧場の青さが無い	牧場の土地改良が必要と思う。例えば、砂を取り除く等
		57	内陸に発達した湿原地帯	国道232号・40号・道道106号から、湿原域の両ビクターセンターへ辿り着くまで道しるべがじゅうぶんな案内でないことと、同じような風景が続く、到着するまで不安がつのる	統一的な案内板の設置により、遠方からの観光客にも湿原へのルートをわかりやすくする
		58	延長40kmにおよぶ海岸に発達した砂丘帯	近年、砂採掘跡地の埋め戻しにより、外来種が多くなり、夏の盛り頃に賑わっていたエゾスカシユリなど海浜性植物が減ってきたので寂しい	有識者・専門家などを中心として、跡地再生について、まず論議を深め、方向性を見出し、砂丘帯のあるべき姿を位置づける
		59	生いたちの異なる2つの島の自然	それぞれ固有の植物の生息域がせばめられているという話をきいて、どうしたらいいのかと考えてしまう	2つの島で、自然環境保全でがんばっている人たちの話を稚内で聴く行事を企画し、多くの人々に現状をわかってもらう。それから解決策へ大きな輪ができるように

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
豊富町	15	60	イトウを頂点とするサロベツ川流域の生態系の豊かさ	何らかの原因で、魚の数が減ってきていると釣り人たちの声をきく。原因は何なのでしょう	イトウを保護することはその生態系を保護することになるので、釣り人、地元住民などから情報提供してもらい、継続的な調査をする
		61	渡り鳥の中継地の湖沼の点在	何らかの原因で、湖沼が小さくなったり減ってきている。減少することと、渡り鳥の中継に影響ないのでしょ	サロベツ原野がラムサール登録湿地に指定されたのをきっかけとし、湿地保全とワイズユースのあり方を考える会をたちあげる
		62	高緯度に位置して体感できる北方景観	公園周辺の道路沿いの植樹で、この景観にそぐわない箇所もある	周辺の道路管理・維持も国立公園利用と同じと考え、最北の国立公園でしか体感できない北方景観を保持できる工夫をする
		63	酪農地帯と隣り合わせの国立公園	ここは湿原かなと思っていたら、採草地・放牧地だったりする	ビジターセンターでのガイドなどにより、ここの湿原と農地との関係を説明する
		64	人々の開拓の歴史が刻まれている農・漁村風景	保存すべき建物が廃屋となり、長い年月で朽ち果ててしまい、周囲の景観にそぐわない建物が渾然一体となっている	建物の景観も国立公園の大切なことがらであることを地元住民に理解してもらう。それからどうするか
豊富町		65	広大な大地と地平線	自然にそぐわない風車	良さをそこなわない景観のルール確立
		66	空の大パノラマに浮かぶ雲そして星空		
		67	エゾカンゾウの黄色い絨毯	春の霜によりエゾカンゾウが減少すること	水位の確保
		68	海に浮かぶ利尻富士と沈む夕日	海岸や道路脇のゴミ	地域や観光客をまきこんだ清掃活動 大型ゴミを捨てた人の重い罰金
豊富町		69	サロベツ湿原は低地における日本最大の高層湿原を有していること		
		70	湿原には多様な植物の生態が見られること	サロベツ川下流に接する天塩川の改修跡にサロベツ湿原の農地化による湿原の乾燥化が問題である	上サロベツ自然再生全体構想に基づくサロベツ再生事業の実効に求められると思います
		71	水鳥の生息地として国際的に認められた自然公園であること		
豊富町	18	72	広大な湿原と花群落	ゴミ問題を解決すべき	ゴミの現状を知ってもらうセミナーの開催、清掃活動
		73	水鳥が飛来すること	NPOもそうですが、人が関わる事である以上、組織体制や管理者の能力強化を促す教育が必要	自然人としての自覚をもっていただく研修等を行う。人間に謙虚に優しく接することができない人間が自然にも優しくできるでしょうか？
		74	利尻富士を筆頭に素晴らしい景観	若者にももっと興味をもってもらうアピールの仕方が必要	将来を見据え、お年寄り中心の観光客以外にもサロベツの素晴らしさを伝える
		75	湿原だけではなく砂丘林や海岸を有していること	身体障害者にもっと配慮した設計	健常者以外のお客様のニーズにきちんと応える。その小さな事が信用と信頼を生むから
		76	観光客の知名度が高いこと		
豊富町	30	77	サロベツ原野の広さ、雄大さ	サロベツの現状を伝えて、保護や啓発活動をする人が足りない	【177関連】情報を公開して、もっと広く町や管内の人達とも知恵を出し合った方がいいです。ここだけの問題ではないと思います
		78	利尻山が見えること		【177関連】道路の側の排水溝の水を湿原に流れる方法はないでしょうか？サロベツ川に流れてます。もったいないです
		79	草花の数の多さ		
		80	野鳥の数の多さ	町でカラスにエサをやっている人が居て、沢山のカラスが群がっているそうです。そのせいか、原野でもカラスの巣が増えてます。夏になると、カラスが野鳥のヒナを食べてるのを見たことが有ります	
		81	砂丘林があって、その中の湖沼群	鹿が増えすぎて、砂丘林の中はシカのフンだらけで、寝床が沢山有ります	
		82	トウキョウトガリネズミ、コモチカナヘビ、動物も種類が多い		
		83	60kmに渡って続く海岸草原(セリ科の花々や、ハマナス、エゾカンゾウ、エゾスカシユリ)風が強いことも	稚内へ続く道路の左側が、風の影響で砂をかぶって、ハマナスの木や他の草花がダメになっている場所が何カ所も有ります。右側の方は牧草地が多くて、景観も悪いです	
		84	本州では高い場所に行かないと、見られない花や鳥が低地で見れる素晴らしさ	ササの増えすぎによって、可愛い小さな花が消えてしまうのではないかと心配です	観光客の人達はササの多さにビックリして、何もないとあきらめてしまうんです。一緒に歩くガイドさんが居たら、又、違うでしょう。ササばかりの広さでは皆さん納得しません。早くこの湿原を守る方法を考えて下さい
豊富町	21	85	100種以上の花が咲き誇り、色々な花が楽しめること	湿原や花を保護する人が足りなく、ササが増えて花がなくなる	もっと保護をする人を増やし、ササをなくした方がよい
豊富町	40	86	広大なサロベツ原生園。広いという事だけで感激	広い原野を歩ける事は良い事です、遊歩道の整備が悪い	今の原生花園からは花と島との景観が良いですが、新しいビジターに移った場合、これだけの景観が見られるか疑問です
		87	サロベツ原生園から見える利尻島		
豊富町	16	88	地平線が見えそうな広大な草原(湿地)	湿地の理解を深めるため実際にさわたり、入ったりできる施設(模擬装置)の設置や説明員(解説)の配置	
		89	原野から陸地続きに見える利尻富士	稚内内から稚内への海岸沿いは利尻が美しく見える道道であるが、海からのゴミがせつかくの景観を損ねている	清掃費用の予算の確保(人手や作業の主体は町でも積極的にやる)
		90	原野の広さ、空の広さ		

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
幌延町	25	91	湖沼群	ナガバノモウセンゴケの調査や保護	地域の人々にその価値を知ってもらい。調査をする際、地域の人間も参加するような仕掛けがあると良い。例えば、ナガバノモウセンゴケを訪ねる・探す・出会うといったような地域ツアーを仕掛けて、マップに落としていくとか、誰がいくつ見つけたとか。「調査」という堅いイメージではなく
		92	砂丘列		
		93	ツメナガセキレイの多さ		
		94	利尻富士を望む景色		
幌延町	50	96	ナガバノモウセンゴケ	ナガバノモウセンゴケの調査や保護	地域の人々にその価値を知ってもらい。調査をする際、地域の人間も参加するような仕掛けがあると良い。例えば、ナガバノモウセンゴケを訪ねる・探す・出会うといったような地域ツアーを仕掛けて、マップに落としていくとか、誰がいくつ見つけたとか。「調査」という堅いイメージではなく
		97	トウキョウトガリネズミとコモチカナヘビ		
		98	広大なサロベツ原野(湿原)		
幌延町	47	99	礼文島の多種にわたる高山植物	登山者に対しての登山道の整備	自然にマッチした登山道の整備(雨水による泥や土の流失を止めて、現状を維持する)
		100	日本海に浮かぶ利尻富士		
		101	名山台より見るパンケ・ペンケ沼と利尻富士		
幌延町	30	102	ビジターセンターから長沼を経由し、パンケ沼まで続く木道散策路	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
		103	エゾカンゾウの群落		
		104	利尻山が見れること		
幌延町	45	105	花の咲く頃の礼文島の風景のすばらしさ	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
		106	利尻・礼文から観る利尻山の景観に変化がある		
		107	サロベツ湿原のすばらしさ		
		108	サロベツでは平地で低・中・高層湿原が観られること		
		109	サロベツ湿原に点在する湖沼群のすばらしさ		
		110	パンケ沼から観る夕景のすばらしさ		
		111	花の舞う頃の夏の湿原の景観		
礼文町	1	112	豊かな自然	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
礼文町	一ヶ月	113	岬の展望台から見える広大な海が見えること	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
		114	散策路から見えるレプンアツモリソウ		
		115	浜から見える夕日がきれいであること		
		116	海岸沿いの道路から見える利尻山		
礼文町	一ヶ月	117	礼文岳登山が楽しめること	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
礼文町	一ヶ月	118	レプンアツモリソウなど多くの花が楽しめること	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
		119	礼文島にしか咲かない植物		
		120	むやみに開発が行われていない		
		121	レプンアツモリソウや他種類の高山植物		
礼文町	一ヶ月	122	枕岩や猫岩、地蔵岩の奇岩	定期的な点検	定期的な点検(担当者及び自然保護監視員等)
		123	スコトン岬や海馬島が最北の地を思わせる		
		124	植物の生育地域の保護や木道等により保護区域への進入抑制監視センターの設置		

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
利尻町	1	124	利尻山があること	利尻山頂上付近の崩落の問題 同じく登山道整備	登山道整備。崩落ひどくなれば入山制限
		125	礼文島のように高山植物が見られること	礼文島における高山植物の盗掘	恒常的な登山道整備
利尻町	17	126	国内最北の多様かつ独特な生物相	生物相などの基礎的な調査がまだ不十分であり、人知れず絶滅の危機が迫ってもそれに多くの人が気付かずに見過ごされてしまう危険性がある 基礎的な生物相の把握のためには標本を中心とした検証可能な資料・情報を永続的に保管されていくことが必要であるが、それらを体系的に収集・保管していく施設がほとんどない。これでは、現在や過去の記録までも散逸するばかりである 生物相は人為的な境界を超えて存在する為、道北地方全体(国立公園内)を広く調査する視野をもった組織が必要	当国立公園を代表するビジターセンターの中核をなす施設(建物は保管庫だけでもいい)or組織orネットワークを設置し、恒久的に資料・標本を収集・保管・調査・活用する機能を優先して持たせる
		127	海から高山帯まで多様な環境がそろっていること	それぞれの環境の保護は既に多くの人が気付き、対策もされつつある。ただし、この国立公園はその名の通り3つの場所に別れ、それぞれが固有の問題を抱えていることが多い。それらを地域の問題と捉えるのか、国立公園全体の問題と捉えるのか、地域と全体をつなげるなんらかの場が必要かもしれない。また、地理的な境界とは別に、市民やボランティア、行政、関係諸団体などとの連携も同じような問題を抱えており、様々な立場の人からベストな考えを引き出し全体としてまとめていく新たな仕組みの出現も望まれているように思われる	地理的な問題から説明会や情報共有・議論に参加できないということであれば、ネットを活用した情報共有サイトをオープンする 立場上の情報格差をなくすことは難しいが、やろうと思えば共有できるはずの情報も現時点では少なからずあるのではないだろうか？そういった小さな情報の共有から手を付けていくことが大切かもしれない
利尻町	1	128	礼文島から見る利尻山	観光資源としての自然景観重視で良いのか	住民の安全な生活確保のための施設であれば、環境に配慮し整備すべき
利尻富士町	40	129	海の中に大きな美しい利尻富士が浮かんで見えること		
		130	利尻富士の裾野をオレンジ色に染めるエゾカンゾウの群生地	【14・15関連】道路の拡幅や改良で他地域からの植物が入り込んで植生を壊している。サイクリングロードの周りのイタドリはその典型だ。あのような精力の強い植物が入ったら周りの環境は変わる	工事の盛土がどこのものか、イタドリ等の根が入っていないか等のチェックは全くないと思う。発注側のチェックが不足している。工事後はいずれイタドリの群生地を化すであろう
		131	リヒナゲシ、レブンアツモリなどの貴重な固有の植物など	【14・15関連】回復力を超える負荷をかけているため登山道が流れて、又、心ない登山者による盗掘等により貴重な高山植物が絶滅の危機に陥っている	登山者に入山料を支払っていただき、その費用で整備をしていく必要があると考えます
		132	海岸線から間近にある森林帯(利尻島)と野鳥やシマリス、山野草などの高山植物等、動植物		
		133	手つかずの自然が残っている事。物を造るより何も無いのがこれからの財産として貴重である		
利尻富士町		134	きれいで豊かな海、そこで生きている魚介類など	以前、稚内からのフェリーの横を併走していたイルカが今は殆ど見られなくなった。道モニターの時にも提言したのですが、イルカの突きん棒漁を規制して欲しい。地元漁師ならまだしも、他の地域から宗谷のイルカを漁に来ているのは疑問だ。貴重な観光資源としてだけでなく豊かな海の証でもある	イルカ突きん棒漁の規制。特に国立公園近海では
		135	ペシ岬から見た利尻富士	ペシ岬の道路が少ない	
		136	港から見るペシ岬、利尻富士		
		137	ヤムナイ沢	道が悪い	
利尻富士町	18+2	138	ボン山	道が悪い、新しい道を	
		139	海上から見ると美しい円錐形の利尻島	冬になると登山道が通行困難になる	
		140	ありのままの自然が残るサロベツ原野	冬道の除雪が良くなく、途中に吹きだまりがある	除雪の質を良くする
		141	花が咲く礼文島西海岸	道端にゴミが捨ててあり、景観を損ねる	道のところどころにゴミ箱を設置
		142	湖面に利尻富士が映るオタダマリ沼		
利尻富士町	33	143	初心者からベテランまで登れる利尻山		
		144	自然が残る海岸部		
		145	礼文から見た利尻島(海に浮かぶ姿)		
		146	富士野園地から見た海の色(3~4色に見える)	富士野園地の柵のよごれが気になる	
		147	姫沼にうつる逆さ富士(朝)		
利尻富士町	58	148	オタダマリ沼にうつる逆さ富士(夕方)		
		149	ペシ岬から見たフェリーターミナルと利尻富士		
		150	沼浦展望台から見たオタダマリ沼と利尻富士		
		151	夕陽ヶ丘からの夕陽		
		152	ペシ岬からの朝日		
利尻富士町		153	雄大な利尻富士(円錐形の単独峰であり世界でもまれ)	登山客の増加と自然の風化によって、登山道が非常に崩壊されているが、転落事故等がおきないうちに早急に整備すべきである。又、殆どが保護地域に指定されている為、規制が厳しくて整備出来ない事もある。少し規制をゆるめてはどうか	登山道は現在調査中であると聞が、屋久島などの例もあることから先進地域の実情も考慮の上、対処して頂きたい
		154	礼文島の高山植物(利尻島も同)が平地で見られること		
		155	サロベツ原野の湿地帯(数多くの花が見られる)		
		156	ブランド品のウニ、昆布が提供できること		

回答者の情報		No.	設問1	設問2	設問3
住所	居住年数		国立公園の特徴	国立公園の問題・課題	考えられる解決策
天塩町		157	原生している植物、生息している動物(鳥)	道路側、海岸、河川のゴミ	ボランティアの協力、各管理行政機関の連携
		158	点在する湿原	砂利採取の跡地	徹底した管理、指導、予算の確保
		159	自然の地形、風雪に耐えてる森林(自然の造形)	道路標識(景観に合った道路の色)	
		160	道道天塩稚内線から見る利尻富士と夕日	景色の楽しめる場所不足	
		161		シカの被害	
留萌市	1	162	利尻島・礼文島の高山性植物群落		
		163	日本海沿岸の海岸砂丘地形	海浜地等に漂着ゴミや倒木が散見される	グリーンワーカー事業やNPO等による清掃活動の継続
		164	サロベツ原野の大規模な湿原		
		165	きれいな海に浮かぶ島		
留萌市	4	166	渡り鳥が飛来してくる		
		167	利尻富士と湿原の風景	一般の人の認知度が低いと思う	自然、景観を守りながら、イベントを行う等のPRが必要では
		168	原生花園		
留萌市	1	169	利尻山		
		170	サロベツ原野の湿原	湿原に人が降りられないような散策路を整備するべき	散策路から気軽に降りられない位置にロープを張る(景観や色に配慮)
		171	礼文島の高山植物	希少な高山植物を保護するため、新たな対策を検討するべき	観光客に対し、あらゆる機会を通じ、マナー向上の啓発を実施(観光バス、フェリー、ホテル、民宿等)
留萌市	1	172	広大で人工物のない湿原	人が入る事により、必要最小限とはいえ、人工物が出来てしまう。又、自然破壊にもつながる	入場者の生命にかかわる施設以外作らない。又、自然破壊防止のための募金箱を設け、入場者の意識改革をする(入場料金ではない)
		173	陸地から見える水平線	車輛走行中に常時海側に見える水平線を含めた景色が色々な施設により隠されてしまう	景色を見るためだけの道路を作り、必要最小限の安全施設しか作らない。スピードは出せない様な道路とする
留萌市		174	サロベツ原生花園(エゾカンゾウなどの花の咲く時期)	年々草の数が減っているように思うが	湿原の乾燥を防ぐ必要がある
		175	海岸から見える利尻富士		
		176	礼文島の桃岩付近景観		
		177	礼文島の海岸の海の色		
札幌市	3	178	遠くてアクセスのしにくい、あまり知られていない		
		179	利尻富士(例:大沼から見る)		
		180	花咲き乱れる礼文島、サロベツ原野		
		181	特有の原生花	個体、群落の衰退及び異常増殖が把握できない。生態のサイクルが適正なのか分からない	毎年、個体数、群落数調査を綿密に実施し、科学的な管理を行う
		182	特有の野生生物	同上	同上
		183	強い風雪		
		184	道道稚内天塩線からの風景(電線のない道路)		
?	?	185	宗谷本線からの風景		
		186	海上に浮かぶ秀麗な利尻山を見渡すことができること	道々稚内天塩線と海の間にはゴミが散乱している個所があり景観が損なわれている	散乱しているゴミの中には海により遠方から運ばれたものが多く見られることから日本海に面した国や地域、また航行する船などに対し川や海にゴミを投棄しないよう協力を求めるとともに、すでに散乱しているゴミについては大規模なゴミ清掃を行い美しい海岸線を取り戻す
		187	サロベツ湿原では湿原では湿原の植物や花を見ることができること	高層湿原の乾燥化の進行とともに湿原の花の数が少なくなっているよう見える	乾燥化が進んでいる湿原全体を止水板などで囲い、湿原からの水の流出を防ぐ

実施時期:平成18年4月27日～5月12日
 実施方法:関係機関:地元住民へのアンケート